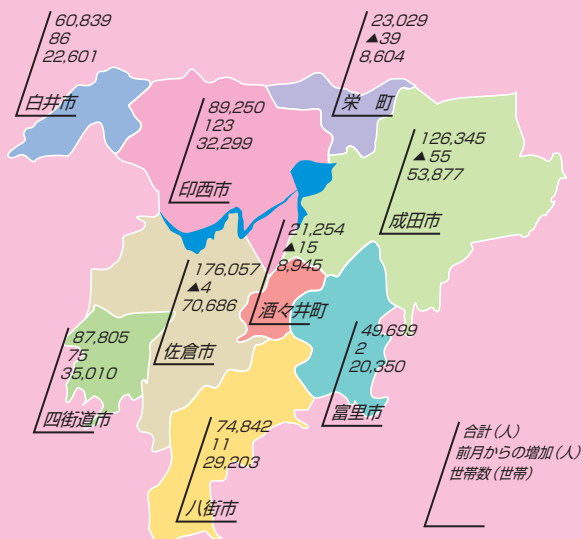


広報

いんば

2011年 新春号 No.92

印旛郡市の人口



印旛郡市合計 709,120人 281,575世帯
 (住民基本台帳調・平成22年10月末日現在)
 毎月の人口は、ホームページに掲載しています。

印旛郡市広域市町村圏事務組合人事行政の運営等の状況(平成21年度)

印旛郡市広域市町村圏事務組合「人事行政の運営等の状況の公表」に関する条例に基づいて、公表します。

1. 職員の任免及び職員数の状況

- (1) 職員数 (平成22年4月1日現在) / 38人
- (2) 職員の採用及び退職の状況 (平成21年度) 採用 / 2人 退職 / 1人
- (3) 職員数の状況と主な増減理由 (各年4月1日) 平成21年度 / 38人 平成22年度 / 38人
- (4) 年齢別職員構成の状況 (平成22年4月1日現在)

年齢	～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	46～50歳	51～55歳	56～60歳	61歳～	計
職員数 (人)	1	0	0	8	4	10	8	5	2	38
構成比 (%)	2.6	0.0	0.0	21.1	10.5	26.3	21.1	13.2	5.3	100.0

- (5) 職員の昇任及び降任の状況 (平成21年度)
 - 昇任の状況: 主査補 / 1人 副主幹 / 2人
 - 降任の状況: 降任となった職員はいません。

2. 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

- (1) 勤務時間の状況 (平成22年4月1日現在) 勤務時間 / 8時30分～17時15分
- (2) 主な休暇・休業制度の状況 (平成22年4月1日現在) 年次有給休暇、女性職員の出産、職員の結婚、介護休暇、育児休業
- (3) 年次有給休暇の取得状況 (平成21年1月1日～12月31日) 1人当たり平均取得日数 / 11.4日
- (4) 育児休業及び部分休業の取得状況 (平成21年度) / 0人

3. 職員の給与の状況

- (1) 人件費の状況 (平成21年度決算) (退職手当を除く) 歳出額 / A: 4,913,397千円 人件費 / B: 326,445千円
人件費比率 / B/A: 6.64%
- (2) 職員給与費の状況 (平成22年度予算) 職員数 / A: 38人 給与費 / B: 282,235千円 1人当たりの給与費 B/A: 7,427千円
- (3) 級別職員数の状況 (平成22年4月1日現在) (行政職・企業職職員)

1級 (主事・技師)	2級 (主任主事・主任技師)	3級 (主査補)	4級 (係長・主査)	5級 (課長補佐・副主幹)	6級 (課長・主幹)	7級 (局長・部長)
1人 (3.1%)	3人 (9.1%)	9人 (27.3%)	9人 (27.3%)	5人 (15.1%)	4人 (12.1%)	2人 (6.0%)

- (4) 職員の手当の状況 (平成21年4月1日現在)

手当	扶養手当	住居手当	通勤手当	管理職手当	期末・勤勉手当	地域手当	時間外勤務手当	特殊勤務手当
支給実績 (千円) (21年度決算)	5,638	607	4,356	5,662	62,903	12,064	6,705	168
1人当たり平均支給年額 (21年度決算) (千円)	148	16	115	629	1,655	317	258	42

(5) 職員の初任給の状況（平成 22 年 4 月 1 日現在） 大学卒／172,200 円 高校卒／140,100 円

(6) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（平成 22 年 4 月 1 日現在）

区 分	平均年齢（歳）	平均給料月額（円）	平均給与月額（円）
行政職	46.1	362,647	427,611
企業職	47.0	383,777	466,081

(注)

- 1 「平均給料月額」とは、職員の基本給の平均です。
- 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当等の諸手当を合計したものです。（時間外勤務手当は含みません。）

4. 職員の分限処分及び懲戒処分の状況（平成 21 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日）

(1) 分限処分者／該当者無 (2) 懲戒処分者／該当者無

5. 職員の研修の状況（水道技術者ブロック別研修、事務講習会、水道講習会、水道技術講習会など）

受講者数／13 名

6. 職員の福祉等の状況

(1) 健康診断の実施状況（職員健康診断、乳ガン子宮ガン検診、胃部間接撮影） 受診者数／36 人

(2) 公務災害補償制度の状況 災害件数／0 件

(3) 印旛郡市広域市町村圏事務組合職員共済会による福利厚生事業

共済会に対する平成 21 年度補助金額（結婚・出産祝金の給付、人間ドック・職場厚生事業の補助、スポーツ大会の実施など）／400,000 円

7. 公平委員会に係る業務の状況（21 年度）

勤務条件に関する措置の要求の状況／該当者無し

不利益処分に関する不服申立の状況／該当者無し

※ 詳細につきましては、組合ホームページ（<http://www.i-kouiki.com/>）でご覧になれます。

平成 21 年度一般会計決算状況

印旛郡市広域市町村圏事務組合は、印旛郡市 7 市 2 町（成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町）からの負担金と当組合が運営している軽費老人ホームよしきりの入所者からの使用料および千葉県からの補助金を主な財源として、職員の採用試験・研修などの事務を共同で処理しています。

平成 21 年度は、厳しい経済状況が続く中、団塊世代の離職に伴い新規採用職員の募集枠が広がり、採用試験の応募者が急増しました。

このような状況は、数年続くとみられ、今後もさらなる効率化をめざします。

歳 入	金額(円)	前年度比(%)
	305,784,437	▲ 3.7

歳 出	金額(円)	前年度比(%)
	286,283,877	0.3

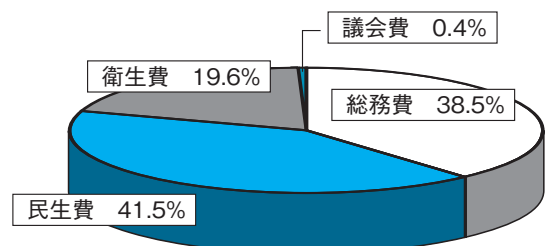
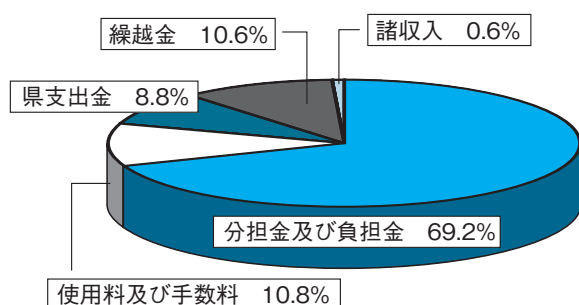
内訳

科 目	金額(円)	構成比(%)
分担金及び負担金 (構成市町からの負担金)	211,788,000	69.2
使用料及び手数料 (軽費老人ホームよしきりの入所者からの使用料)	32,980,856	10.8
県支出金 (民生費・衛生費に対する県からの補助金)	26,881,000	8.8
繰越金 (平成 20 年度予算からの繰越金)	32,349,060	10.6
諸収入 (軽費老人ホームよしきりの入所者の電気料等)	1,785,521	0.6

内訳

科 目	金額(円)	構成比(%)
議 会 費 (組合議会議員の報酬及び議会に要した経費)	1,143,878	0.4
総 務 費 (職員の給与・共同研修・採用共同試験等広域事業に要した経費)	110,093,462	38.5
民 生 費 (軽費老人ホームよしきりの運営に要した経費)	118,779,837	41.5
衛 生 費 (第二次救急医療・小児救急医療に要した経費)	56,266,700	19.6

歳入から歳出を差し引いた残金 19,500,560 円は、翌年度予算への繰越金となります。



平成 21 年度水道用水供給事業決算状況について

印旛広域水道用水供給事業は、みなさまがお住まいの地域（成田市・佐倉市・四街道市・八街市・印西市・白井市・富里市・酒々井町・栄町）へ水道水を供給しています。平成 21 年度決算におきましても黒字を計上いたしましたが、これからも安定給水をしていくための施設の整備や更新が見込まれるため厳しい経営状況が続きますので、引き続き効率的な事業運営に努めてまいります。

（構成団体別年間給水量）

単位：m³

成田市	2,607,976	白井市	1,206,963
佐倉市	6,388,988	富里市	2,950,373
四街道市	912,487	酒々井町	127,744
八街市	2,664,492	長門川水道企業団	364,994
印西市 ※	1,793,729	計	19,017,746

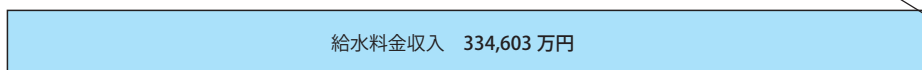
※ 印西市には旧印旛村分を含む

1. 収益的収支（水を供給するための収入及び支出）

差引 3 億 2,996 万円の純利益となり、減債積立金として積み立てました。

収入 33 億 9,240 万円

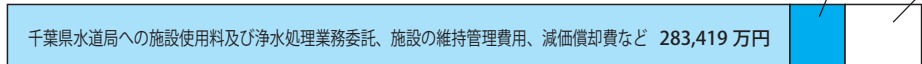
市町村からの補助金など 4,637 万円



支出 30 億 6,244 万円

支払利息 22,825 万円

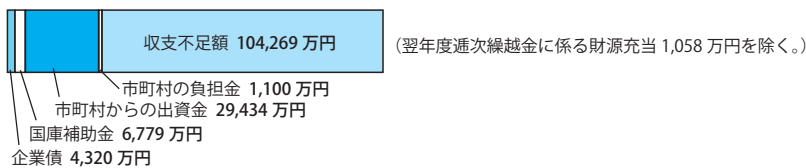
純利益 32,996 万円



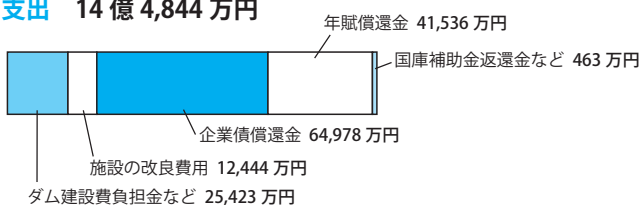
2. 資本的支出（ダム建設や施設などをつくるための収入及び支出）

収入額から翌年度への繰越額 1,058 万円を除いた額と支出額との差額 10 億 4,269 万円は損益勘定留保資金等で補いました。

収入 4 億 1,633 万円



支出 14 億 4,844 万円



資金不足比率

平成 21 年度の公営企業の経営の健全化を判断する「資金不足比率」は経営健全化が必要とされる基準未満でした。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道用水供給事業会計	無し	20.0%

詳細につきましては、水道企業部のホームページ（<http://www.catv296.ne.jp/~kouiki-w/index.html>）をご覧ください。



自然あふれた環境にある

軽費老人ホーム“よしきり”



「六合小のお米パーティーに行ってきました。」

よしきり入所者のみなさんは、11月19日に印西市立六合小学校で行われた「お米パーティー」に招待されました。

3年生のみなさんが、丹精こめて作った新米をおにぎりにして振舞ってくれたことや、米作りで学んだことを紙芝居や劇で発表してくれたことをとても喜んでいました。

後日、お米パーティーに参加した入所者の方々に感想を聞いてみました。

・元気な3年生が自分達の手で田植えをしたり、稲刈りをして作ったお米を“おにぎり”でいただきました。大変おいしく、お米に輝きがありました。

また、お米作りの寸劇を紙芝居で見せてくれました。大変面白い一時を過ごすことが出来ました。今、ここにいる子供達が成人して農業を明るく、楽しんでできるような日本の将来であってほしいものです。日本の明るい未来を！

・お米ができるまでの紙芝居やリコーダーの演奏、カカシ作りの工夫話と思いもよらなかった子供達の発表会を参観させていただきまして、現代っ子の学びの姿に接し楽しゅうございました。3年生が握った“おむすび”も、それは美味しゅうございました。しっかり噛みしめて味わって参りました。可愛い子供達に手を引かれ3階の会場に向く時の気分は、幸せだなあと喜びにひたっております。校内は何処もピカピカ、廊下には花があちらこちらに置かれ、また、壁に

飾られた子供達の絵画も力作ばかり、もっと鑑賞したかったです。なかなか入ることのできない学舎に何十年振りでしょう？入れていただき、今もあの元気な子供達の声が耳に残っている様な気分でございます。

・田植え、草刈り、稲刈りと次から次へと問題を取り入れながら考える所もあり、よくできておりました。新米のおにぎりをいただきおいしかったです。パワーをいっぱいもらってありがとうございました。来年はどんな田んぼになるのか、また案山子さんに逢えるか今から楽しみです。

・田植え、案山子作り、稲刈り迄を紙芝居にし、一人一枚ずつ読んでくれた。絵も一人一枚描いてくれたのかな？3年生の小さな手で握った“おむすび”は春からずっと丹精して作られたお米。さすがに美味しかったです。このお米の味はきっと忘れないと思います。どうぞ馳走様でした。

皆が大変楽しい一時を過ごすことが出来ました。六合小学校のみなさん、ありがとうございました。



大切な救急医療を守るために

印旛郡市では、内科・外科の救急に対応できるよう、印旛市郡医師会の協力で医療機関が当番を組み、24時間救急診療に当たっています。

初期
救急



症状・緊急度

二次
救急



三次
救急

比較的症状の軽い方

★休日応急診療所や当番医など

入院・手術を必要とする重症の方

★救急告示病院などが輪番で担当

命にかかわる特に症状の重たい方

★救命救急センター

詳しくは、印旛市郡医師会ホームページ (<http://www.chiba.med.or.jp/inba/>) をご覧ください。

なるべく医療機関の通常の
診療時間内に受診しましょう！

